

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年2月6日 (2014.2.6)

【公開番号】特開2012-130604(P2012-130604A)

【公開日】平成24年7月12日 (2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2010-287188(P2010-287188)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/32 (2006.01)

B 0 5 C 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/32

B 0 5 C 5/00 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月13日 (2013.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流体室内の流体に脈動を与えて脈動流を噴射する脈動発生部と、
前記脈動発生部に流体を供給する流体供給部と、
前記脈動発生部を駆動する脈動流駆動信号を入力し、かつ、前記流体供給部を駆動する流体供給駆動信号を入力する駆動制御部と、
前記駆動制御部に作動指令を入力する作動指令入力部と、を有し、
前記流体供給駆動信号と前記脈動流駆動信号とが、前記作動指令の入力に連動して入力されることを特徴とする流体噴射装置。

【請求項 2】

前記駆動制御部は、前記流体供給駆動信号が入力されて第 1 時間経過した後に、前記脈動流駆動信号が入力されることを特徴とする、請求項 1 に記載の流体噴射装置。

【請求項 3】

前記流体供給部は、ポンプ室と、前記ポンプ室の容積を変更させて前記脈動発生部に前記流体を供給するポンプ室容積変更手段と、を含み、

前記駆動制御部は、前記作動指令が入力されていない場合、および前記ポンプ室の容積が最小となる最小容積量に到達し、かつ、前記作動指令が入力されている場合には、前記ポンプ室の容積が最大となる最大容積量へ向かって前記ポンプ室の容積を増加させ、前記作動指令が入力されている場合には、前記最小容積量に達するまで、前記ポンプ室の容積を前記最小容積量へ向かって減少させるように、前記流体供給駆動信号を用いて前記ポンプ室容積変更手段を駆動することを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の流体噴射装置。

【請求項 4】

前記流体を前記ポンプ室内に吸入する前記ポンプ室の容積増加速度が、前記流体を前記ポンプ室から送出する前記ポンプ室の容積減少速度よりも速いことを特徴とする、請求項 3 に記載の流体噴射装置。

【請求項 5】

前記駆動制御部は、前記脈動流駆動信号の入力が終了して第 2 時間経過した後に、前記

流体供給駆動信号の入力が終了することを特徴とする、請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一項に記載の流体噴射装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一項に記載の流体噴射装置を用いたことを特徴とする医療機器。